

# 緑のまち

第40号

平成26年11月30日発行

公益財団法人日野市環境緑化協会

〒191-0016 日野市神明2-13-1

☎042-585-4740

<http://www.hinoryokka.org/>



理事長あいさつ



萱嶋 信

今年も異常気象や自然災害に見舞われた日本列島、被災地の皆様には心からお見舞い申し上げます。災害の予測は困難で常日頃の備えが大切です。当協会でも事務所前に災害用保管庫を設置しています。

さて毎年、都内で最高額となる日野市の緑の募金は今年度も百六十五万円を超え、全国の緑化と共に市内の緑化にも役立てています。皆様のご協力に感謝いたします。

当協会では二千人を超える市民ボランティアの方々と一緒に公園清掃等を実施して汗を流しています。最寄りの公園愛護会に参加して「まちづくり」にご助力をお願いいたします。その他にも各種講習会や市内小学四年生と六年生を対象にした作文集の発行、菊花コンテストなどを実施しています。

これからも快適な日野市のために市民の皆様とともに、力を尽くしていきたいと思えます。

最後に、前武貞理事長の長年のご尽力に心から感謝申し上げます。

## 平成25年度 決算

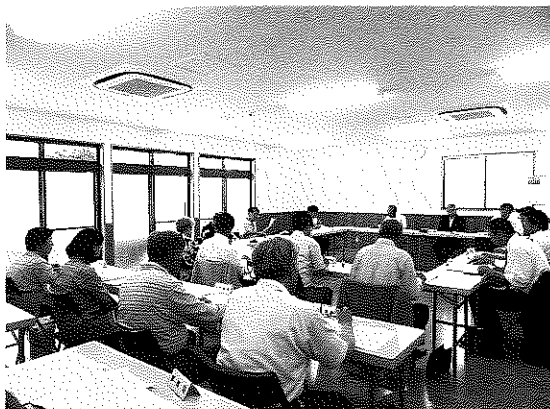
収 益	基本財産運用益	275,000円
	事業収益	19,195,330円
	受取補助金等	21,671,204円
	受取寄付金	376,597円
	雑収益	24,141円
経常収益計		41,542,272円
費用	事業費	37,067,952円
	管理費	4,372,310円
経常費用計		41,440,262円

## 平成26年度 予算

収 益	基本財産運用益	275,000円
	事業収益	19,620,000円
	受取補助金等	21,626,000円
	受取寄付金	1,000円
	雑収益	16,000円
経常収益計		41,538,000円
費用	事業費	37,378,171円
	管理費	4,381,920円
経常費用計		41,760,091円

## 役員名簿

✽ 平成26年6月13日、緑化協会の役員が改選されました。✽



(写真は評議員会の模様)

理事長	萱嶋 信
副理事長	尾崎 義昭
常務理事	榎本 数隆
理事	志村 進一
理事	宗 昌枝
理事	国分 知子
理事	中島 政和
理事	石坂 昌子
監事	三浦 盛好
監事	渡辺 良勝

評議員	垣内 成剛
評議員	奥住 日出男
評議員	橋本 栄萬
評議員	安西 清
評議員	片岡 容子
評議員	井上 敏夫
評議員	加納 秀一
評議員	奥住 登

(順不同)

## 緑の募金

今年も自治会・老人クラブ・各事業所等をはじめ、多くの方々に「緑の募金」への参加協力をいただきました。お預かりした募金は、東京緑化推進委員会に納入し森林整備等の事業に使用されるほか、一部は当協会にも還元されて、市内公共施設や花壇へ四季折々の花卉植付けなどに役立たせています。

皆さまのご協力、本当にありがとうございました。

●平成26年度募金総額（平成26年10月現在）

**1,655,686円**

御存じですか??

## 緑化協会掲示板

緑化協会では空いている窓ガラスを利用して、講習会の参加者募集などのお知らせをする“掲示板”を作っています。その時期に合った告知やお花のイラストなどなど…女性職員の力作(?)です。是非、お近くでご覧になって下さい。



ココ

# 平成26年度事業実績（その1）

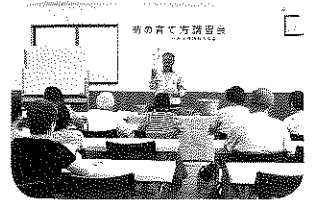
## 緑のリサイクル

4月26日（土）9：30～開催したこのイベントは、緑の有効利用を目的とした緑化推進の事業です。今年も大勢の市民よりご提供いただきました166種、1,026点の植物の苗や植木などを市民の皆様へ配布しました。当日は、延べ391名が来場され、大盛況でした。また、腐葉土、肥料の販売とみどりの健康相談を行いました。



## 菊の育て方講習会

菊花コンテストに出品していただくため、日野市菊友会より講師を迎え7月に「大菊の育て方講習会」8月に「ポットマム・スプレー菊の育て方講習会」を行いました。菊の植付け方、肥料の与え方、病虫害の防除などについて教えていただきました。大菊の講習会の受講者には大菊の苗を配布しました。



## ポットマム・スプレー菊苗の市民配布

8月23日（土）、日野市の花「菊」の普及と11月に開催される菊花コンテストに参加していただくため、ポットマム・スプレー菊の苗を配布しました。会場は、緑化協会事務所前、JA東京みなみ七生支店、JA東京みなみ平山農産物直売所、旭が丘中央公園、市民陸上競技場の5カ所でした。



また、菊苗植付けに必要な肥料の販売も行いました。市内の幼・小・中学にも配布しています。

## 庭木の手入れ講習会

10月9日（木）日野市緑進会より講師を招き、講習会を行いました。緑化交流センターで講義の後、日野中央公園内にある緑化見本園で、今年は、ユキヤナギ・コデマリ・マンサク・キャラ玉の具体的な枝の剪定方法、樹形の整え方を実習しました。それぞれの木の特性や生育サイクルをよく把握し、正確な時期に、適切な箇所を整枝・剪定することが最も大切なポイントです。



## 平成26年度 今後の事業予定

### 緑の写真展 平成26年12月16日（火）～12月25日（木）

場所：市役所1階市民ホール テーマ1「日野の四季」 テーマ2「わが家の緑」  
今年も市民の皆様からの応募作品が展示されます。是非、ご覧ください。

### 稲わら竹細工講習会 平成26年12月18日（木）開催

稲わらと竹を使い、ミニ門松を作ります。\*詳細は「広報ひの」12月1日号掲載

### 春の草花管理講習会 平成27年2月5日（木）開催予定

ご家庭で育てる春の草花や果樹の管理方法等について学んでみませんか？  
\*詳細は「広報ひの」1月15日号掲載予定

### ガーデニング講習会 平成27年3月12日（木）開催予定

花と緑を楽しむためにガーデニングについて学んでみませんか？  
\*詳細は「広報ひの」3月1日号掲載予定

### スプリングフェスタひの 平成27年3月28日（土）・29日（日）開催予定

日野中央公園にて各種イベントや市内商工業者等による模擬店が出店されます。  
\*詳細は「広報ひの」3月15日号掲載予定

※詳しくは、いずれも協会ホームページをご覧ください。(http://www.hinoryokka.org/)

# 配布苗菊花コンテスト

展示期間:平成26年11月4日(火)~11月13日(木)

今年も夏に配布した菊苗による、恒例の菊花コンテストを行いました。一般市民の部、老人クラブの部、小学校の部に分け、それぞれ自慢の作品が展示され、市民プラザが豪華に彩られました。

11月13日に市民会館で行われた表彰式では、下表のように23作品が表彰されました。

平成26年 配布苗菊花コンテスト受賞者一覧 (敬称略)

賞名	市民一般の部			老人クラブの部		小学校の部
	ポットマムの部	スプレー菊の部	大菊の部	P・S菊の部	大菊の部	
日野市長賞	天野 正次	山鼻 茂子	菊地 満子	久和の美会	程久保長生会	第六小学校
日野市議会議長賞	増澤 茂	菊地 邦雄		川北クラブ	川北クラブ	第二小学校
日野市教育委員会委員長賞						第三小学校
(公財)日野市環境緑化協会理事長賞	芹沢 美栄子	天野 聡	峯岸 恵子	悠悠クラブ		滝合小学校
日野市老人クラブ連合会会長賞				程久保長生会		
日野市菊友会会長賞	天野 聡	立川 泰司				
東京農業協同組合組合長賞	菊地 邦雄	旗野 正子		中部長生会		



小学校の部



一般市民  
スプレー菊



老人クラブ  
大菊

## 応募総数

市民一般の部 57名 101鉢  
老人クラブの部 12団体 135鉢  
小学校の部 11校 110鉢



# 第10回 ガーデニングコンテスト



ガーデニングコンテストはお陰さまで第10回を迎える事ができました。今年は2月に記録的な大雪に見舞われ、気象条件の思わしくない中、お庭をきれいに保つのもかなりのご苦勞だったと思いますが、愛情と情熱が注がれた素敵な作品を多数ご応募頂きました。受賞された方々は右表の通りです。

来年も是非多くの作品をお待ちしています！



賞名	氏名
日野市長賞	石井 幸子 様
日野市議会議長賞	板谷 モア 様
日野市環境緑化協会理事長賞	走井 孝子 様
審査員特別賞	久野 喜生 様



日野市長賞《石井宅庭》  
「キッチンガーデンのある庭」



緑化協会理事長賞《走井宅庭》  
「洋風の手間いらずの庭」

日野市議会議長賞《板谷宅庭》  
「ローズガーデン」



# 花壇から見る『日野の四季』

公益財団法人日野市環境緑化協会では、市民の方々と一緒に公民一体となって「緑あふれるうるおい豊かな日野市」を目指して事業を行っています。中でも花壇の植付けは重要な事業のひとつであり、皆さまからいただいた「緑の募金」の還元金等を財源として多くの市民ボランティアなどと取り組んでいます。そんな花壇の四季折々の“顔”を紹介します。(写真：神明上グリーンベルト花壇)



夏

夏は色とりどりの花が咲き乱れる季節。緑化協会でもサルビア、コリウス、ペコニア3色などを6月中旬に植付けします。上手に育てば秋まで目を楽しませてくれる花々です。枯れた花芽を摘んだり、猛暑に耐えるように水やりをしたり、手を掛ければ掛けるほど愛情に応えてくれる花たちです。

10月初旬、日本人には馴染みの深い「菊」が花壇を彩ります。「菊」は日野市の花でもあります。色々な種類や色の菊を植付けるので、是非近くでご覧になって下さい。10月から11月にかけて朝晩の冷え込みが厳しくなる季節、日中の天気良かたりするとまるで、魔法でも掛けたように一晩で花開きます。



秋



冬

冬は華やかな花も少なく寂しくなってくる季節。寒い北風や霜にも耐えて育ってくれるハボタンやパンジーを11月に植え付けて、街に彩りを添えます。冬の間、霜が降ったり雪が積もったりしても、ハボタンやパンジーはその下でジッと耐え、私達の間を楽しませてくれる貴重な存在です。

うぐいすの鳴き声も聞こえてくる春、3月。フレッシュな気持ちと共に、なんだかワクワクするこの季節はチューリップ、パンジー、マルチコーレやノースポールで花壇もリフレッシュ！公園で耳を澄ませばうぐいすの声、上を見上げれば桜の木、そして花壇には色とりどりの花々。何とも楽しい季節です。



春

こんな素敵な風景を楽しむため、緑化協会では**市民ボランティア**を募集しています。花卉は緑化協会でご支給します。植付けや水やり、草取りなどを手伝って下さる方大歓迎です。時期や場所など…興味のある方は、お気軽にお電話下さい。お待ちしております!!

## 素敵な花壇を作るために…

緑化協会の職員が日々汗を流し、小さな種などから苗を育てたり…。



(職員が育苗した花々)



市内の花壇に苗を植付けたりしています。今年は職場体験の中学生も畑の作業を手伝ってくれました。(右記事⇒)

## 職場体験学習

今年も日野市立日野第四中学校の生徒3名が緑化協会に職場体験にやってきました！土いじりを嫌がるかな？と聞いていたら…。

協会の職員と一緒に公園清掃やハボタンの植替えまで、2日間泥だらけになりながら必死に働いてくれました。

日野市の未来も明るいぞ！



現在、腐葉土の販売は見合せています。詳しくは緑化協会にお問い合わせください。

# 作文集 「緑のまち」

市内の小学四年生と六年生を対象に募集した作文に二、六四一名の児童から応募がありました。

この中から今年も七名の審査員により入選作一〇五編が選ばれ、カット五九作品と共に作文集を発行します。ここでは優秀賞の中から三作品と審査委員長の講評を掲載します。

## みんなで守ろう

### 日野市の緑

潤徳小学校

四年三組 貴家 碧

私は日野市の潤徳小学校の近くに住んでいます。学校のうらには「トンボ池」という池があり、色々な木や花があります。ミーンミン、チュンチュンと虫や鳥達の鳴き声も聞こえて、そこには自然がたくさんつまっています。小さいころによく遊んだ思い出の場所でもあります。

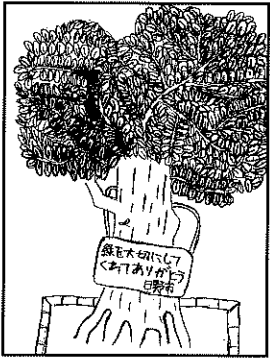
ひさしぶりに行ってその景色を見ると、今まで気付かなかつた事がありとてもおどろきました。深緑にそまつた木々は、はるか空に向かって伸びていて、私の心を元気にしてくれます。生き活きとした草や可愛らしい花は風にゆれて、私の心をいやしてくれれます。今度何かいやな事があつた時は、ここに来れば気分を入れかえられるかな、とも思いました。

帰り道、商店街を通って行く時、いつものようにザワついていて、とても緑があるとは思えません。それでもきれいな

植えてあり、並木がどこまでも続いて、池や野原じゃなくても緑にかこまれているんだなと感じました。

一番心に残ったものは、並木にかかっていた「緑を大切にしてください」という看板でした。それを見た時私は、日野市の緑はだれか一人が頑張つて作っているものではなく、みんなが協力して作っているんだと思いました。そして、私は本当にうれしくて感心しました。

だから道ばたにゴミが落ちてゐるのを見ると、とても悲しくなります。だれか一人でもゴミを落としたり、せつかくの緑が台無しになってしまいます。一人一人が気を付けて、きれいな緑を守れたらいいなと思います。そして、みんながその緑を見て元気になったりいやされたりしたら、とてもすてきな事だと思えました。



## 十年後も百年後も

### ずっと

旭が丘小学校

六年一組 倉見 栗奈

桜が舞い散る春、蝉が大合唱をする夏、木々が紅葉に身をまとう秋、辺り一面が白銀の世界になる冬。

これら、四季の変化を身近で感じる事が出来るのは、とても幸せなことだ。そして、それが出来る私達は、とても恵まれていると思う。

私の通う旭が丘小学校には、雑木林がある。みんなで手入れをし、みんなに愛されている雑木林だ。

五年生の時から理科委員会である私は、普段の授業以外にも、休み時間などに雑木林の手入れや観察をすることが出来る。この休み時間が、いつも楽しみでしょうがない。

三百六十五日雑木林に寄り添っていると、ただ時々眺めているだけでは気付かないようなことにも、気付けるようになってきた。例えば、季節や天気によつて雑木林の元気が違うように

うことだ。夏や晴れの日は、にぎやかで、全体がキラキラ輝いているように感じ、冬や雨の日は、静かでおとなしいような感じがする。そんな違いがある中でも、私はどちらからも新しい命の息吹きを感じる。これも自然の力なのだろうか。このとき私は、「自然の不思議は人間にはわからない」と思った。そして同時に、「だから面白いんだ」と気付くことも出来た。

私は、自分なりの発見が尽きない自然を、十年後も百年後もずっと、守っていきたいと思う。そして、十年後も百年後もずっと、このままの雑木林を旭が丘小学校の子供達が見ていられたら、それはとても素敵なことだと思った。

この旭が丘小学校の雑木林という、小さくて、大きな自然のことが、私は大好きだ。



# 小さな緑から 学んだこと

日野第六小学校

六年一組 日高政明

「あ、赤くなっているよ。」

母が大きな声でほくを呼んだ。

実の数を数えてみると青いものも含めて二十三個ついている。

色つやが良い。ほくは

(やっとう実がなったのに、熟しているのは八つなんて、植物を

育てるのは大変だなあ)

と思った。

ほくの家ではベランダでミニ

トマトを育てている。母が春に

苗を買ってきてプランターに植

えたのだ。

一年生の時はあさがお、二年生

の時はヒマワリ、四年生の時はス

プレー菊、五年生の時は稲を育

てた。学校で育てていた時は、水

やりも忘れずしていたけれど、

夏休みになって家に持ち帰ると、

水やりを忘れてしまうことが多

くなった。葉がしおれているの

を見て、あわてて水をやることも

あった。二年生の時、家で種をま

いたヒマワリは、途中で枯らして

しまい、花を咲かせることができ

なかった。ただ水をやるだけとなのに、毎日かかさずやるのは難しいことだなと実感した。だからこの夏休みは、ミニトマトに水をやる仕事をひき受けた。

日野市の学校の給食は、地場

野菜をたくさん使っている。給

食はとてもおいしい。この野菜

一つ一つが売り物になるまでに

は農家の人たちのどれほどの苦

労があるのだらうかと改めて想

像すると、ありがたい気持ちに

なり、食べ物を残さず食べよう

と思った。

「手作りのトマトはおいしい

ね。」

夏休みの間、ほくの家泊まり

に来ていた祖母が朝食を食べな

がら言った。小さな赤い実が、

祖母を笑顔にしているのを見

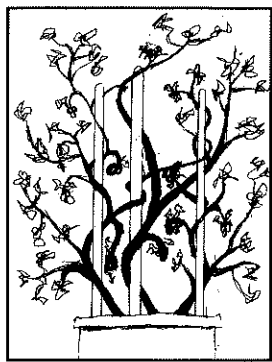
て、うれしくなった。これから

も一人一人が身近な緑を大切に

し、あたり前のことを続ける中

で日野の環境を守っていかれたら

いいと思う。



# ふるさとへの感謝

審査委員長

日野市立潤徳小学校校長 竹山弘志

日野市内の四年生と六年生が、日野市環境緑化協会主催の作文集「緑のまち」に、今年度は二千六百四十一点の作品を寄せてくれました。審査委員会のメンバーは、これらの作品を丁寧に読ませていただきました。そして、この作文集に掲載する作品を、審査委員全員の総意として選出しました。

私たちは、自分が住んでいるまちの環境や歴史について、真剣に考えたりそれを作文にしたりするような機会が少ないと思います。この作文集への応募をとおして、自分のまちを真剣に見つめ、感じたこと、考えたこと、実践していること

などを文章にすることで、自分とまちとの関係性を実感できたのではないでしょう

か。この作文集の大きなテーマは、「緑のまち」です。「緑と清流のまち」と言われている日野市について、大人の目線や感覚では気づかないような内容の記載もたくさん見られました。児童が、日野市の環境をどのようにとらえ、どのような願いを抱いているのかを、作文をとおしてうかがい知ることができました。作品を読んだ私が強く感じたことは、児童の皆さんが、日野市の山や川、公園、樹木、草花、鳥、魚、虫、空気、自然体験、農作体験、清掃活動などに

直接触れたりかわつたりする機会をたくさんもち、環境について自分なりの考えをしっかりと持っているということ。さらに嬉しく感じたのは、児童の皆さんが日野のまちをとっても好きで、日野市の環境に感謝の気持ちをもっているということ。感謝の気持ちは、ふるさと意識を芽生えさせて、ふるさとを愛するさとの環境を守るための実践力を培うことにつながると思います。日野市が将来にわたって「緑と清流のまち」であり続けることは、児童の皆さん一人一人のこ

れからの生き方にかかっているのだと思います。

## 万願寺渡し西公園 日野万大六天公園

万願寺渡し西公園では側溝の中の泥を熱心に掻き出したり…。日野万大六天公園では小さな木の実の一粒まで拾い集めたり…。

『地元の公園なんだから、キレイにしないと』と、とにかく細部に渡って作業する姿に頭の下がる思いがしました！

折角の清掃活動だから楽しくやりたいと、互いに冗談を交えながら声を掛けあい、楽しく活動する姿に地域の人々の繋がり大切さを強く感じました。



公

園

紹

介

子どもたちも多く利用する2つの公園は近隣の老人クラブが分担して清掃活動を行っています。

住宅街の中にある比較的大きな公園で毎月2回、日曜日の早朝から数時間、地域の住民グループが清掃活動をしています。

数年前に亡くなった前代表者の『地元の公園を自分たちの手でキレイにしたい！』と言う強い信念を受け継いで、日々活動されています。

小さなお子さんは思い思いに、年配の方はゲートボールなど、多くの人々に利用される公園です。今では年に1回付近の子ども会も手伝ってくれるようになったとか?!ただひとつ後継者不足が問題のようでしたが、「せっかく生えた苔を大切にしたい」と1本ずつ雑草を取る姿が印象的でした。

## 四ツ谷 下西公園



## 取材日記

今回は「万願寺渡し西公園」「日野万大六天公園」「四ツ谷下西公園」の3箇所にお邪魔しました。清掃活動をして下さる皆さんとお会いする機会は多くないですが、どの公園でも本当に熱心に作業する姿を見て嬉しかったり…反省したり!どの公園でも笑顔で迎えてくれて、ありがとうございます。そうそう、「万願寺渡し西公園」での出来事です。清掃中に通りかかった若い女性が「お疲れさまです!」と皆さんに頭を下げて行きました。なんだかとても心が温かくなる光景にほっこりとして、帰りに自転車を漕ぐ足も軽くなりました。

## 前役員に感謝状

緑化協会で長年に渡り役員を務め、今年6月に勇退された前役員3名に日野市長より感謝状が授与されました。



(左から武貞建男前理事長、大坪冬彦市長、大崎茂男理事、矢島稔理事)

## 編集後記



「公園清掃ボランティア」と一言と言っても、その形態は様々です。月に2回、みんなで集まって清掃で汗を流し、その後はお茶を飲んだり食事をしたり…楽しい時間を作るのもひとつの形かも知れませんか?!緑化協会では市民のみならずと一緒に作り上げる公園を目指して行きます。

【K・E】